

永田町新潮流 平沢勝栄

俺がやらねば



三笠宮皇仁親王殿下が27日薨去(こうきょ)されました。訃報に接し、悲しみの念に堪えません。慎んで心から哀悼の意を表します。

英国の警察官募集広告には「ユーモアのある人を求む。」といった文言がある。

警察の仕事はあらゆるタイプの人間を相手とする。何かと緊張を強いられることが多く、苦しい現実に向

面して身動きがとれなくなることもある。こうした場合に、決して相手の挑発に乗ることなく、沈着冷静に局面の打開を図っていく心の落ち着きが必要となる。そのためには自動車のハンドルに遊びがあるように、警察官は常に心にゆとりと余裕を持っていなければならぬ。これがユーモアである。

警察官よ、「ユーモア」を持って

先日、沖縄に派遣された大阪府警の警察官がヘリパッド建設工事に反対する人々を「土人」呼ばわりして、各方面の怒りを買った。警察官は激しい言葉の応酬の中で、つい「売り言葉に買い言葉」でさう言ってしまったのだろう。

「土人」発言について松井一郎大阪府知事は、「相手もむちゃくちゃ言っている。

「土人」発言については松井氏の「機動隊員擁護発言」は、ひいきの引き倒し

警察官は、たとえ罵詈雑言を浴びようと、決して相手と同じ土俵に上がってはならず、一歩距離を置いて、客観的に事態を判断しなければならぬ。「土

人」などの言葉で相手と言いつことは論外である。要するに、この警察官は警察官の基本的な資質である「ユーモアの心」に欠けていたということだろう。

別の大阪府警の警察官は、抗議する人々を「シナ人」と呼んだという。大阪府警は問題を起した2人の警察官を直ちに懲戒処

沖縄「土人」発言で

分にしたそうだが、当然のことだと思ふ。今回の発言は「ヘイトスピーチ」が社会問題となっている中で起こったことから、日本の警察の信用を大きく失墜させた。連日、危険を顧みず職務に精励している全国の警察官は、今回の問題で歯ざりしているのではないかと。ともかく、日本の警察にとって今後、重要なことは、「心ゆとりと余裕を持った警察官」をしっかりと育ていくことだろう。